

[海外報告]

中国における水田雑草の発生状況について

財団法人 日本植物調節剤研究協会 濱村謙史朗

はじめに

当協会は、日中雑草防除技術交流の一環として1998年度から2001年度までジャンボ剤（中国名称：大粒剤）をテーマとした交流を進めてきた。

1998年には中国でのジャンボ剤の可能性を検討するため、大規模な水田地帯である東北3省

において除草剤試験を実施し、以降2001年まで中国全土の水田地帯（13省、3市）で試験を行った。そこで、試験成績書および現地調査から中国で発生する水田雑草について整理したので報告する。

調査または試験した地域：黒竜江省、吉林省、遼寧省、河北省、天津市、江蘇省、湖北省、湖



南省, 江西省, 上海市, 浙江省, 四川省, 広東省, 広西省, 雲南省, 北京市。

水田雑草の発生状況

一年生草種ではイネ科(ノビエ), ミズアオイ, コナギ等のミズアオイ科, アゼナ, スズメノトウカ^{ラシ}等のゴマノハグサ科, タマガヤツリ, コゴメガヤツリ, ヒデリコ, アセ^{ガヤ}等のカヤツリグサ科, キカシグサ等のミソハギ科, タ

ウコギ, タカサブロウ等のキク科, チョウジタデ, タゴボウモドキ等のアカバナ科の発生が見られた。

多年生草種ではマツパイ, ホタルイ, ミズガヤツリ, コウキヤガラ, クログワイ等のカヤツリグサ科, ヒルムシロ等のヒルムシロ科, ウリカワ, サジオモダカ, オモダカ等のオモダカ科, デンジソウ等のデンジソウ科, キシュウスズメノヒエ, タイワンアシカキ等のイネ科, ミゾツ

表-1 中国における水田の発生雑草(1998~2001年大粒剤試験成績書から) ルノゲイトウ等のヒユ科

	年平均 気温	一年生雑草	多年生雑草	難防除雑草	その他
黒竜江省	4.4	ノビエ, ミズアオイ	ヒルムシロ, サジオモダカ	オモダカ, コウキヤガラ	タウコギ
吉林省	5.8	ノビエ, ミズアオイ	ホタルイ, ヒルムシロ, ミズガヤツリ, ウリカワ, サジオモダカ	オモダカ, コウキヤガラ	タウコギ, 三稜草(ハナイ科?), 三葉鬼針草
遼寧省	8.0	ノビエ, ミズアオイ	ホタルイ, マツパイ, ヒルムシロ	オモダカ, コウキヤガラ	タウコギ, 水葱(カヤツリグサ科?)
河北省	13.5	ノビエ, 広葉類, カヤツリグサ科			
天津市	12.9	ノビエ	ヒルムシロ		アセガヤ, タサブロウ, 三稜草(ハナイ科?)
江蘇省	15.1	ノビエ, コナギ, カヤツリグサ科(タマガヤツリ)	ミズガヤツリ, ウリカワ	クログワイ	耳葉水見(ミソハギ科?)
湖北省	16.2	ノビエ, 広葉類(キカンガサ, アゼナ), カヤツリグサ科			水山稜(カヤツリグサ科?), 水花生(ミゾツルノゲイトウ?)
湖南省	16.5	ノビエ, コナギ	ウリカワ		
江西省	17.4	ノビエ, コナギ, 広葉類(キカンガサ), カヤツリグサ科	マツパイ, ホタルイ, ウリカワ	キシュウスズメノヒエ	
上海市	16.1	ノビエ, コナギ, 広葉類(キカンガサ), カヤツリグサ科(タマガヤツリ)	ホタルイ		水見菜(ミソハギ科?)
浙江省	16.6	ノビエ, コナギ, 広葉類(キカンガサ, アゼナ), カヤツリグサ科(タマガヤツリ)	マツパイ, ホタルイ, ウリカワ		アセガヤ, ヒデリコ, チョウジタデ, スズメノトウカ ^{ラシ} , タイワンアシカキ, ミゾツルノゲイトウ, タデ科, 水竹葉(ヒルムシロ科?)
四川省	16.1	ノビエ, コナギ	マツパイ, ホタルイ, デンジソウ	オモダカ	コゴメガヤツリ, タカサブロウ, タゴボウモドキ
広東省	22.2	ノビエ, コナギ, カヤツリグサ科(タマガヤツリ)			
広西省	22.0	ノビエ, コナギ, 広葉類(キカンガサ), カヤツリグサ科	ミズガヤツリ		水蓼(タデ科?)
雲南省	15.1	ノビエ, コナギ, 広葉類(アゼナ), カヤツリグサ科(タマガヤツリ)	ホタルイ, サジオモダカ		勾繁稜, 水八角, 小茨藻

注1: 発生量の多い草種は太字で記載した

注2: 年平均気温参考 札幌8.2, 青森9.7, 仙台11.9, 新潟13.2, 水戸13.2, 東京15.6, 京都15.3, 大阪16.3, 広島15.0, 下関15.8, 福岡16.2, 熊本16.2, 鹿児島17.6, 那覇22.4

注3: 中国各省市の平均気温: 平田幹郎 最新中国データブック より抜粋 (1993データ)

注4: 北京市は試験当年が非常に厳しい干ばつ年であったためデータから除外した。

の発生が見られた。

また, 特定できないがタデ科と考えられるものが2草種, カヤツリグサ科と考えられるものが2草種, ハナイ科と考えられるものが1草種, ミソハギ科と考えられるものが2草種, ヒルムシロ類と考えられるものが1草種, ヒユ科と考えられるものが1草種, 全く想像できない4草種の発生が見られ, これら全てを合計すると40草種の発生が見られた。

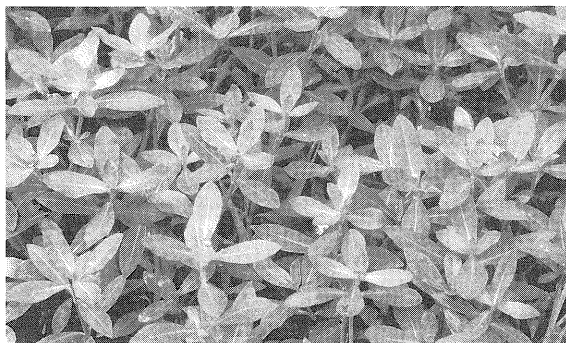
省市別の発生雑草から地域的な雑草分布状況を考察すると, 東北部(黒竜江省, 吉林省, 遼寧省)では主としてノビエ, ミズアオイ, ホタルイ, オモダカ, コウキヤガラが発生, なかでもミズアオイの発生分布から日本の

寒地、寒冷地北部に似通っていた。東北部以外の地域ではノピエ、コナギ、一年生広葉草種、一年生カヤツリグサ科、ホタルイが全地域、一部でウリカワ、ミズガヤツリ、キシウスズメノヒエなどの発生が見られ、日本の温暖地東部以西の草種と似通っていた。また、熱帯、亜熱帯に分類される広東省では多年生雑草の発生が

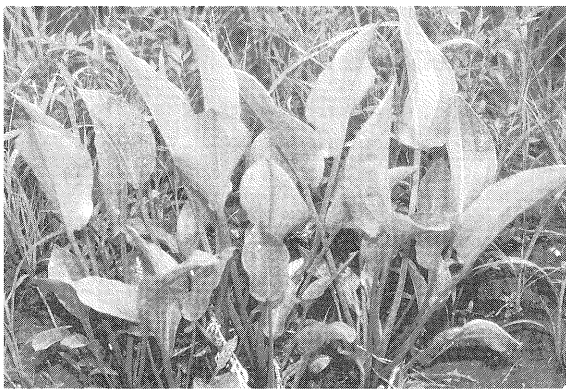
ほとんど見られず、それは水稲作が通常二期作であることに起因するのではないかと考えられた。

以上のように、中国で発生する草種は日本の草種とかなり似通っており、中国各省の平均気温と我が国の県平均気温を比較しても発生草種が類推できると考えた。

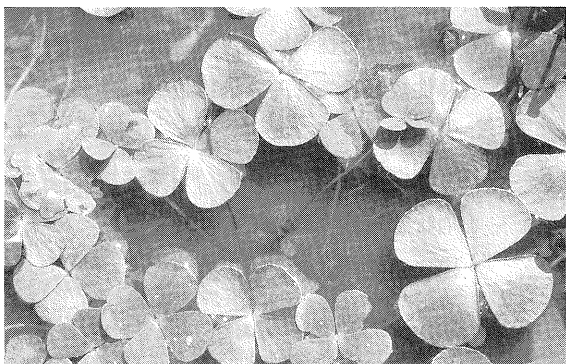
●中国の水田で見られる雑草



ミズツルノゲイトウ



サジオモダカ



デンジソウ



コウキヤガラ



コバノヒルムシロ



ハナイ